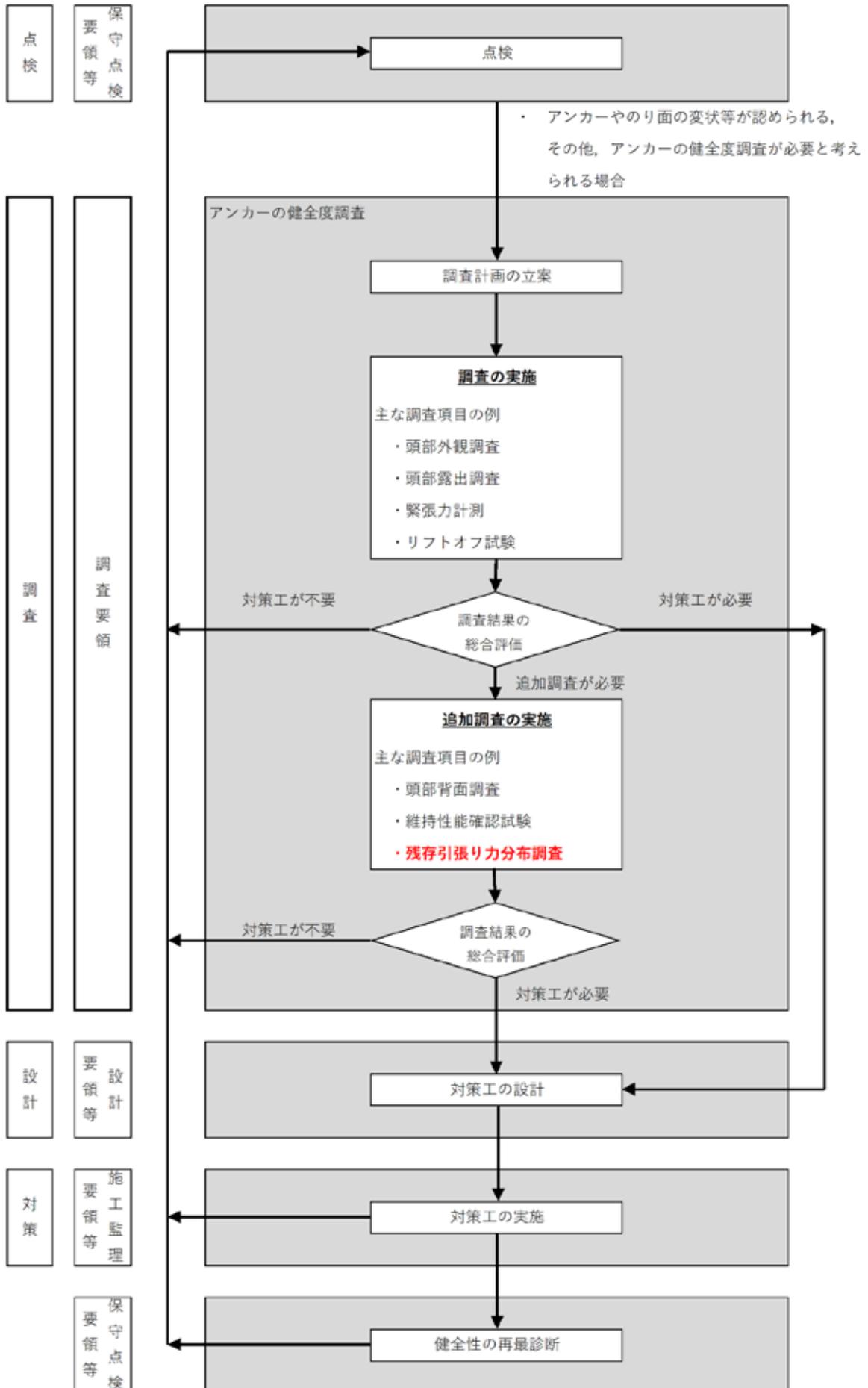


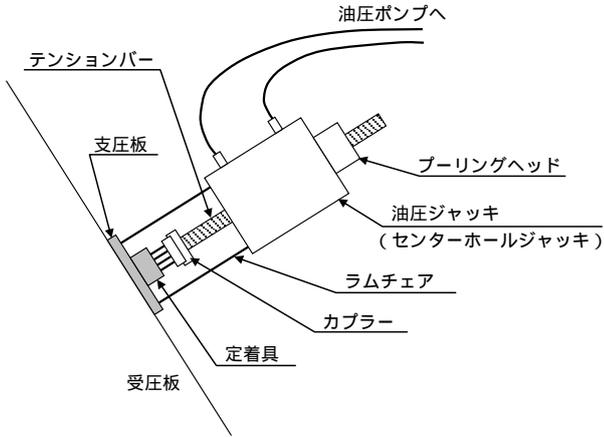
グラウンドアンカーの維持管理の流れ



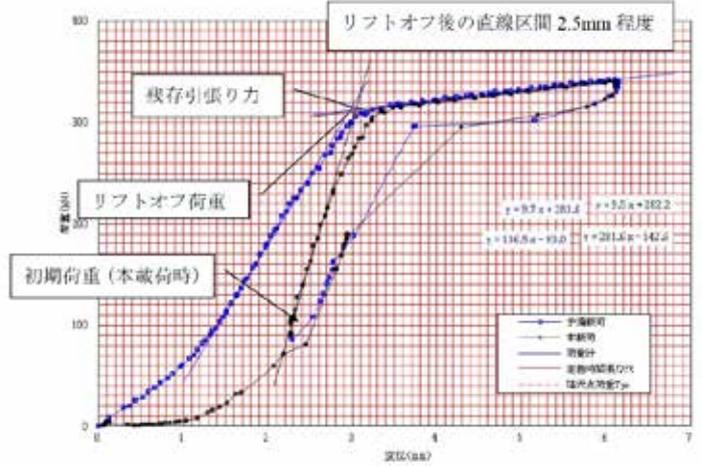
グラウンドアンカーの維持管理の流れと調査の基本的な考え方

リフトオフ試験

グラウンドアンカーの健全性は、アンカー頭部の詳細点検を行い、リフトオフ試験の実施箇所を決定し、同試験によりアンカーが現在保有する残存引張り力を確認し、その面的分布状況から健全度を評価する。



リフトオフ試験装置の概要



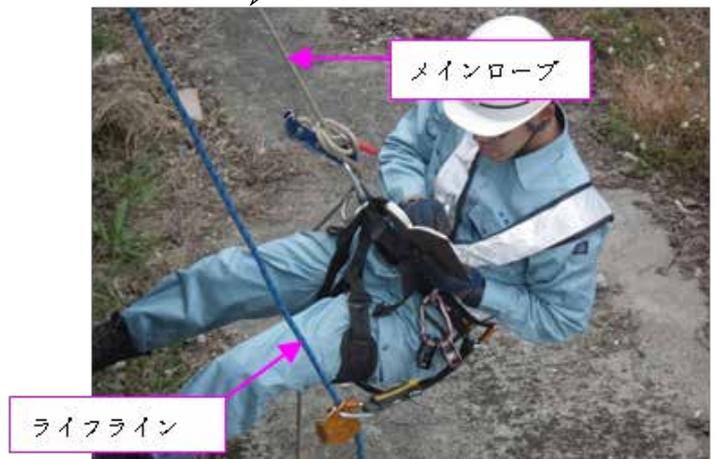
リフトオフ試験による荷重 - 変位曲線例

SAAM ジャッキを用いたリフトオフ試験

小型・軽量である SAAM ジャッキを用いることで、リフトオフ試験を効率的で迅速に実施することが可能である。

旧来ジャッキを使用	ジャッキの小型・軽量化	SAAMジャッキを使用
<ul style="list-style-type: none"> ● クレーン等での搬入が必要 ● 足場の仮設が必要 ● 通行規制が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 省力化 ▶ スピードアップ ▶ コスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人力での搬入が可能 ● 足場の仮設が不要 ● 通行規制が不要
<p>リフトオフ試験の簡便化・迅速化</p>		

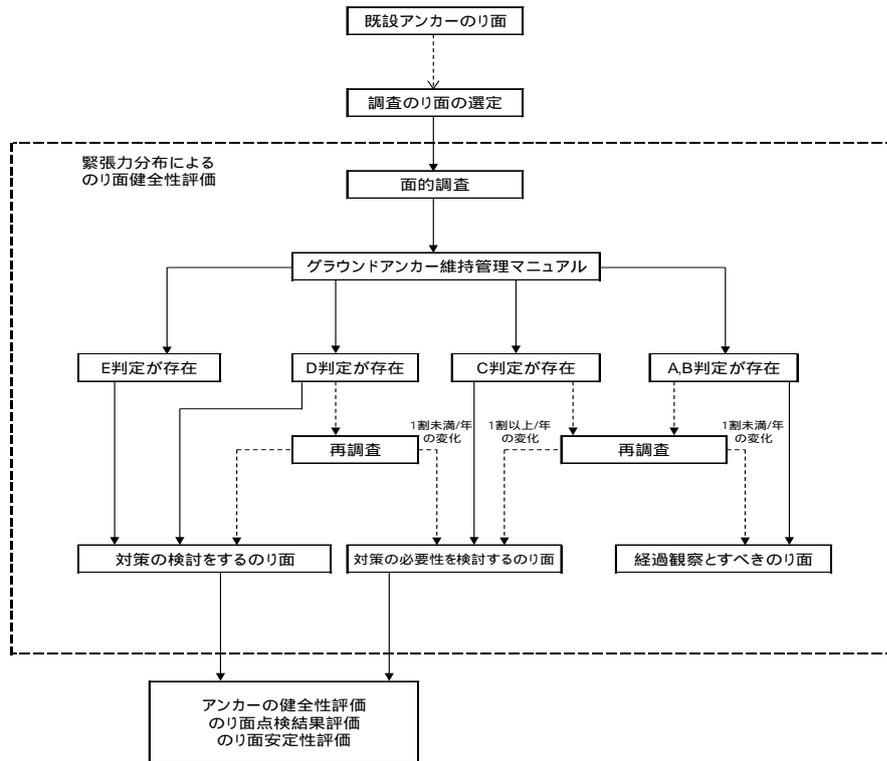
のり面上の高所では、メインロープおよびライフラインを設置し作業（ロープ高所作業）する。



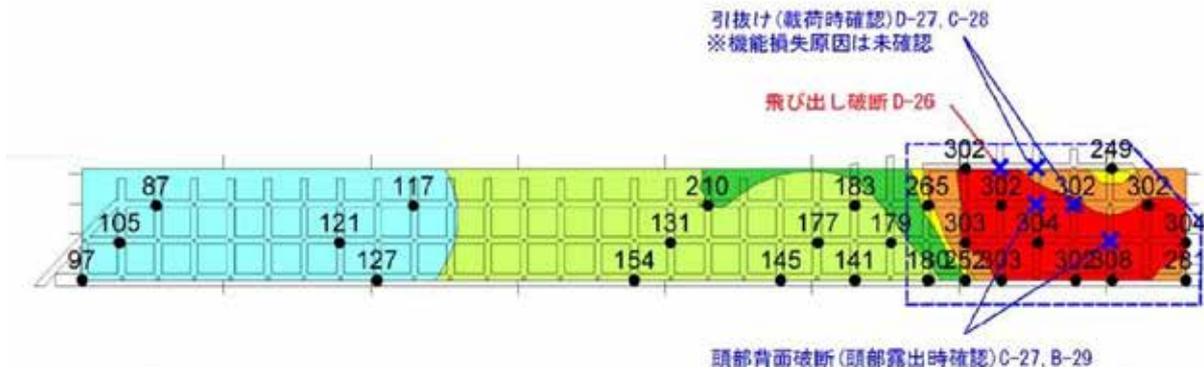
面的残存緊張力調査事例

残存引張り力とアンカー健全度の目安

残存引張り力の範囲	健全度	状態	対処例
0.9Tys	E	破断の恐れあり	緊急対策を実施
1.1Ta	D	危険な状態になる恐れあり	対策を実施
許容アンカー力(Ta)	C	許容値を超えている	経過観察により対策の必要性を検討
設計アンカー力(Td)	B		
定着時緊張力(Pt)	A	健全	
0.8Pt	A	健全	
0.5Pt	B		経過観察により対策の必要性を検討
0.1Pt	C	機能が大きく低下している	対策を実施
	D	機能していない	



のり面健全性評価フロー



図中 印：リフトオフ試験箇所、数字：残存緊張力

S A A Mシステムによるのり面健全度評価の事例

過荷重領域
要対策